

EXPOSE HERSELF



どうもみなさんこんばんは。
ヒロインX・オルタです。

わけ、といっても
マスターさんに要求する
和菓子探訪でも、

今日はわけあって
私一人で
街に出ています。

スペースボックスでひと時を
過ごしにきたわけでもありません。

(お察しでしょうし)
この場で
見せてしまっても
いいのですが、

それでは少し
もったいない気も
しますし――

マスターさんから

命じられたことも
ありますから……つと

ここなら
ちようどいいでしょうか。

人通りのないことを

よく確認したら
今日の目的――

はあ、

露出開始です。

はあ、はあ、はあ、

この瞬間のためだけに
きたただけはあり

体中がもう
熱く火照っています。

外で…
こんなこと…

自然と自慰行為に
耽りはじめます。

期待に下の棒も
膨らみを抑えきれず

ゴ
ズ

でも興奮のまま
手を動かしても、

スパッツ越しでは
感触がもどかしく

いつ誰が来るか
わからないのに……

かえって興奮は増すばかりで――

早く
出さないとなのに
こんなの……♡

だめだ――



予期せぬ
トラブルですが……



これもまた
興奮させてくれます。

思わぬ邪魔が入ってしまったが

そろそろ外も人がいなくなる頃。

念入りに確認したら――

今度は上着を全部

今危なかったばかりなのに

でももう我慢できない♡

また懲りずに……♡

いえ

下も全部脱いで

一糸纏わぬ姿で外へ歩みだします。



そして
曝け出した身体は
夜風に震え

さらに解放感を
求めて



脚を開いて



駄目なのに

こんな♡

見せつけるような
恰好……♡

止められないから……♡

再び
はしたなく肉棒に
手をやります。

開けた通りなので
誰かが来れば
即ち見つかる——



そう思うほど
鼓動は高鳴り、

しごく手も
速さを増す一方で

グハッ
グハッ
あっ♡

こんなところで……
街の真ん中で
おち○ちんしごいて♡

イキそうになってる♡

危険などお構いなしに
快楽は押し寄せ——

もう……

もうダメだ……
出さなきゃ……

あっ♡



といたいたいところ
でしたが……



このまま
もう一度――



今日のところは
この程度に
しておきましょう――



見られる前に
もう十分出した――

出した、はずですが――

あ♡

駄目だって……♡

んっ♡

なんで……♡

それでも腕は止まることを覚えません。

もう人が来てるから……♡

止めないで駄目だって……♡

バキバキ

バキバキ

早くしないと本当に見られる、と思うと

あ

これ♡
また出すまで

止められないんだ――♡

はー♡

はー♡

かえって興奮が抑えられなくなつたようで――

もうどうにでもなれと
言わんばかりに
いやらしく尻を突き出し、

今度こそ♡

本当に
おち○ちんしごいてる場合
じゃないのに……

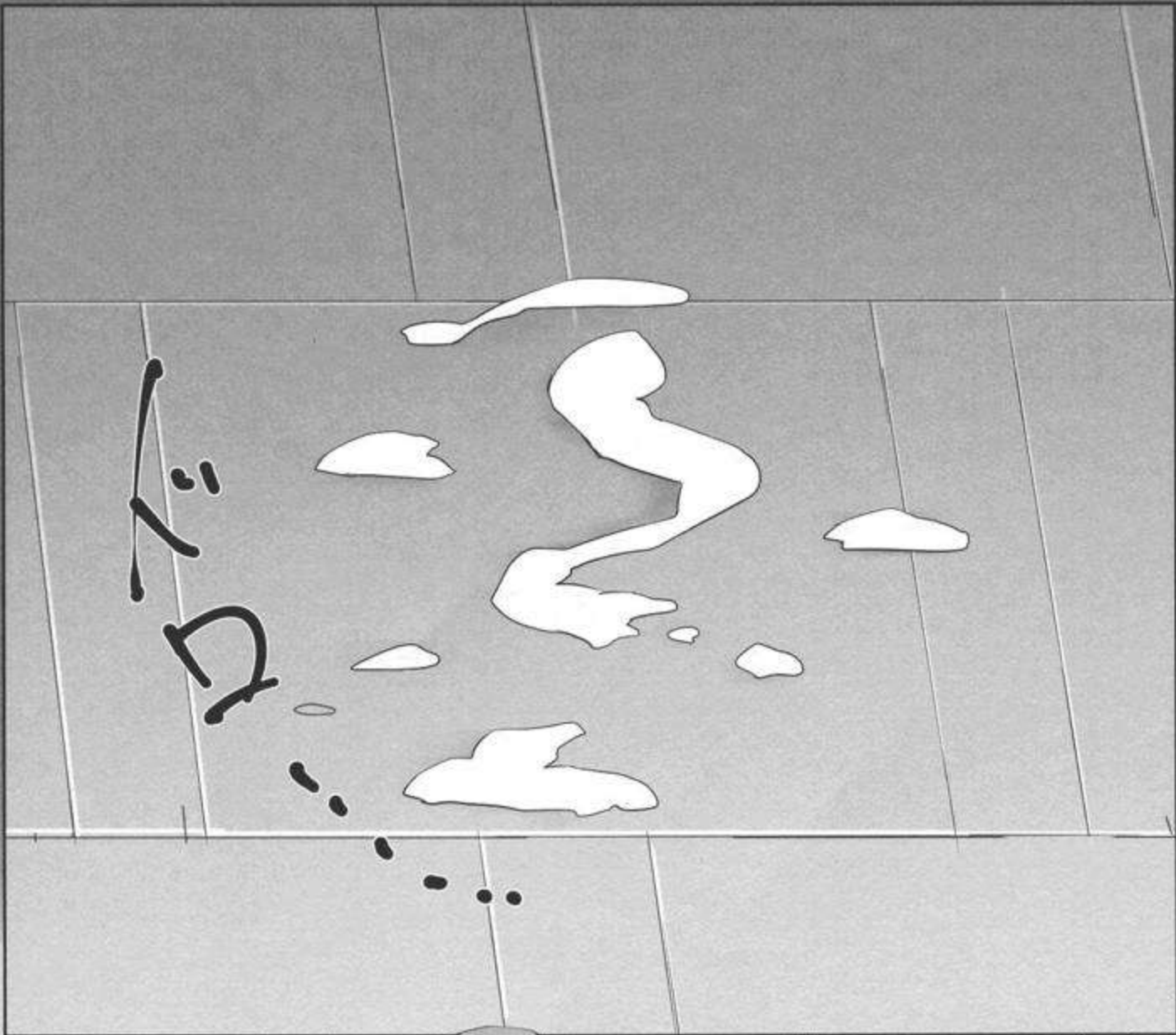
駄目だよ

こんな
見せつけるような
ポーズ……♡

いけないと
理解しつつも

股間をいじる手は
激しさを増して





マスターさんに
言われた写真

そういえば

まあ今で大丈夫……かな

うわっ

なにん

次は
どうしましょうか……♡

ヒロインだから
大丈夫と言っても
このスリル……♡

eXpose herself

毬藻塾

Marimo juku

2018年6月9日発行

mohumohu810@gmail.com

n.f.t.

twitter:@Gini_University / Pixiv: nft

印刷:株式会社栄光

**EXPOSE
HERSELF**

球藻塾

**R18
ADULT ONLY**



球藻塾